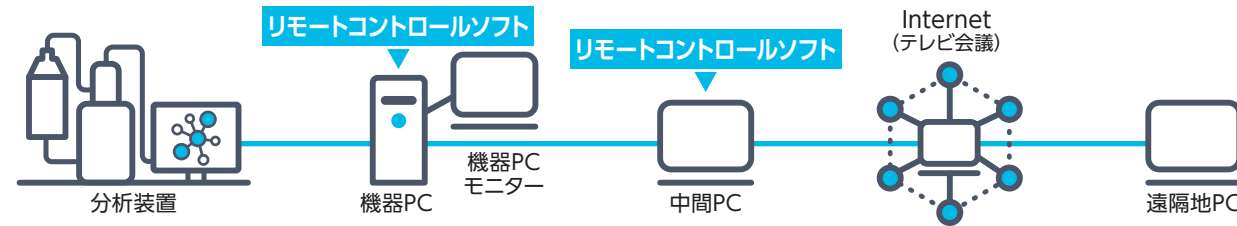
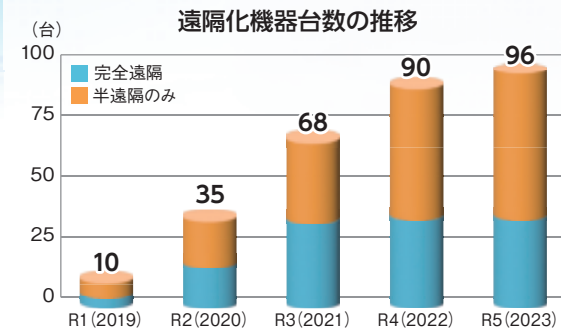


取り組み <Approach>

長岡技科大が中心となり、各機関の特徴ある機器を戦略的に遠隔・共用化し、全国的な研究機器の遠隔利用ネットワークを形成しています。各機関の担当教員や情報セキュリティ責任者等と連携し、**96台の遠隔機器ネットワークを整備**しました。それら機器の相互利用を推進するとともに、ネットワーク全体での研究機器の運用ルールや利用料金体系についても検討を重ねています。また、機器メーカーの協力の下、研究機器の特徴や操作方法を遠隔で学べるシステムを構築し、DXに精通した人材の育成を推進しています。



完全遠隔利用

現地サポートスタッフに試料セッティングを任せ、IoTツールのリモートデスクトップ機能を使い、遠隔地から単独で分析を行う。

半遠隔利用

現地サポートスタッフに試料セッティングと機器操作を任せ、テレビ会議ツールを使い観察画面を共有しながら、遠隔地から協働で分析を行う。

遠隔活用

研究利用

実施機関間で完全遠隔利用を推進しています。現地サポートスタッフが操作の説明を行なった後、遠隔地から自身の手で機器を操作し測定します。また、TV会議ソフトウェアの画面共有機能を用いることで、出張先などから参加しディスカッションと並行して分析を進めることも可能であり、より効率的な研究活動の支援に展開しています。

研究利用以外の活用事例

学生実験や講義での活用のほか、技術職員研修会等での機器の完全遠隔操作体験を実施しています。また、オンライン機器講習会も執り行い、学内外の教育研究増進に貢献しています。



人材育成

TCカレッジ



東京科学大学の高度技術者教育プログラム「TCカレッジ」のサテライト校として「遠隔分析DX系コース」を担当しています。研究機器を遠隔化して活用できる知識と技術を習得し、研究教育のDXを支援・牽引できる人材の育成に取り組んでいます。

卓上SEMオンラインワークショップ



機器メーカーと共同で定期開催しています。TV会議を使用した講習と完全遠隔での操作実習を行います。受講者のSEM習熟度に応じて内容の調整も行います。少人数向けに設定しており、メーカーへの質問や分析相談をしやすい環境づくりを目指しています。



動画コンテンツ

登録制の動画配信サイトで、機器メーカーによる機器講習会アーカイブのほか、分析テクニックの解説や初心者向けの装置の原理説明等についての動画を順次作成・公開しています。本事業実施機関所属の学生・教職員はどなたでも視聴可能です。



装置ご利用の流れ

技学コアファシリティネットワークは、全国の高等専門学校等の教育研究の支援に展開しております。共用機器の利用を希望される方は右記窓口よりお受けしております。なお、実施機関以外的高等専門学校及び大学の方も、窓口よりお問合せください。

総合受付WEB窓口

(高専・国内研究機関向け)

<https://forms.gle/Tj7gHAV4S7sJnnbu6>



依頼者

(高専・大学等)



相談

窓口



打ち合わせ

依頼

測定

データ送付

実施機関



お問い合わせ

長岡技術科学大学 技学コアファシリティ部門

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1

TEL : 0258-46-6000

E-mail : gigaku-core@jcom.nagaokaut.ac.jp

URL : <https://www.nagaokaut.ac.jp/project/share/index.html>



[コアファシリティ]



長岡技術科学大学

長岡技術科学大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



文部科学省 先端研究基盤共用促進事業

コアファシリティ
構築支援プログラム

技学
コアファシリティ
ネットワーク

国立大学法人
長岡技術科学大学
Nagaoka University of Technology

国立大学法人
豊橋技術科学大学

KOSEN
国立高等専門学校機構